



2023年6月23日

株式会社 阿波銀行

近畿ケーブルネットワーク株式会社の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 福永丈久、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、近畿ケーブルネットワーク株式会社（代表取締役 田上 聡、本社：大阪府八尾市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	近畿ケーブルネットワーク株式会社
所在地	大阪府八尾市若林町二丁目 102 番地
代表者	田上 聡
業種	光ケーブル通信網設計および電気通信設備工事業
設立	1990年7月2日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2023年6月23日



近畿ケーブルネットワーク株式会社 代表取締役 田上 聡

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール
社会	ワークライフ バランス	社員の豊かなライフスタイル 実現のため、育児や介護と 仕事を両立しやすい環境を 目指します。	① (1)介護休暇・介護復職支援制度の整備 (2)各種休暇を取得しやすい風土づくり	
			② (1)2025年までに就労規程の見直し実施 (2)2030年度までに有給取得率30%まで 向上	
環境	ゴミ・廃棄物 削減	未来の地球環境を守るため、 自社で排出する廃棄物の 削減やリサイクル等の活動に 努めます。	① (1)廃棄物排出量の削減、リユース・ リサイクルの推進 (2)ペットボトル・空き缶の分別回収や リサイクル活動	
			② (1)2025年までに廃棄物排出量 15%削減（2022年比） (2)2030年までにリサイクル率70%達成	
環境・ 社会	環境問題の 認識・理解の 推進	環境問題を自分事として 取組むために、環境意識の さらなる向上に努めます。	① (1)従業員に対する教育・研修の定期的な 実施 (2)社内の環境取組みに関する表彰制度 の整備	
			② (1)環境問題に対する研修を年2回実施 (2)2025年までに整備	
社会	環境問題への 取組みの公表	情報開示を進め、自社の 環境影響に関する透明性を 高めます。	① (1)法令順守状況や取組の開示 (2)エネルギー・水等の削減に関する取組み 内容と取組み実績の情報開示	
			② (1)(2)2025年までに開示体制を整備、 ホームページで情報開示	



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。